

小林怜央 平成 12 年卒

大会役員の募集がライダーズインザスカイに何度か載っていたのですが、誰か行くだろうと流して読んでいました。けれど、かなり後半になっても'人数が足りません'と書いてあったことや、佐藤先輩と高野先輩の名前があったことで、行こうと決意しました。

その後は先輩方に連絡して、装備の確認や買い出しをして準備は整いました。

大会前に研修会があり、一日目は打ち合わせで、二日目は苗場山、三日目は平標山でした。問題が発生したのが二日目の苗場山を登り下り始めてすぐでした。登山靴のソールが剥がれたのです。その時は針金で応急処置をして下山できました。必携パックの中にある針金は使うこと無く在学中は過ごしましたが、改めて必携パックの中身は必要なものだとということを実感しました。二日目は近くの雑貨屋で購入した長靴で登りましたが、登りは軽くすいすい登れたのですが、下りは階段だらけのコースで、かなりヒザがいたくなりましたが、無事に研修を終えることができました。

そして大会当日になり、一日目は大会の行動予定の会議がありました。

二日目は開会式のみで登山行動はないため、明日のミーティングを行いました。自分の役割は二班の支援隊員で、生徒に何かあった時サポートする業務です。

三日目は平標山での登山行動で、何事も無く進んで行ったのですが、山頂からの下りの階段で、前回の研修の時と同じ痛みがでてきましたが、支援隊員が支援されるなんてとんでもない事態だけは避けるために気合を入れてくださいました。下山後に隊つきの医者先生に見てもらったら、半月板損傷の恐れがあるといわれ、それからは明日までに治そうとヒザを冷やして過ごしました。

四日目は、登山は無理と医者に止められてしまい、大会本部の通信の手伝いをする事になりました。県大会で優勝する実力を持っている生徒たちばかりなので、登山行動が始まれば本部の作業は楽になるのかと思っていたら、A 隊 B 隊ともにトラブルがあり、本部と登山隊を繋ぐ通信は非常に重要なものだと実感しました。

五日目は中継地点での通信中継の手伝いをしていました。

役員としての役割も終わり、残りは閉会式となりました。県央工業が優勝、あまり役に立つことが出来なかったのですが、その場に立ち会えてきて良かったと思いました。

今回の大会で役員として参加させていただき、大会運営の大変さ、緊急時に使う装備の大切さ、日頃のトレーニングの重要性など色々と多くのものを学ばさせていただきました。

この経験を無駄にしないためにも、これからはトレーニングをして万全の態勢で山に登りたいと思います。

最後に県央工業の優勝おめでとうございます！